

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. リストバンドについて

- ・配布場所
＜選手＞

Bゲート選手受付で受け取る。

※ 腕につけておくこと。

※ リストバンドがない場合は再入場できないものとする。

＜競技役員＞受付時1F エントランス

＜引率責任者＞再入場を希望する方のみAゲート退場時に配布する。入場時は受け付けないこととする。

・必ず手首につけること。外れているものは無効とする場合がある。

・同伴者（小学生以下）には配布しない。入場時に引率責任者と共に入場すること。

3. 決勝種目について

- ・本大会は実施しない。（挑戦会は除く）
- ・フィールド種目は走高跳、棒高跳を除き3回の試技で行う。

4. 競技会場入場制限について

	入場ゲート	競技場	補助競技場	その他
選手	Bゲート	メインスタンドのみ	利用可 (長距離選手のみ)	応援不可 ※付き添い不可
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室 競技審判場所のみ		
引率責任者・同伴者	Aゲート	バックスタンド サイドスタンド	長距離出場選手引率者は 競技中のみ待機可	応援不可 ※付き添い不可

5. 再入場について

(選手)

リストバンドを付けているもしくは所持しているもの。

※ 本大会に出場する者でチェックシート(選手)を提出したものに限り。

(引率責任者・同伴者)

引率選手が多種目出場もしくは複数名おり、再入場が必要な場合のみAゲートにてリストバンドを受け取ること。

※ 引率責任者・同伴者のチェックシートを提出したものに限り。

6. 競技者の招集について

- (1) 第1招集場所は雨天練習場に設置する。
- (2) 最終招集場所は現地とする。
- (3) 第1招集 競技1時間前までに雨天練習場に設置している用紙に○をつける。記入のない場合は棄権とみなす。
- (4) 最終招集は現地招集とする。点呼を受けない者は棄権とみなす。
- (5) 長距離種目に関しては招集場所をすべて入退場口手前に設置する。
- (6) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

種目	第1招集時刻	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始1時間前まで	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
フィールド競技	競技開始1時間前まで	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

＜最終招集の手順＞

- ・最終招集までに競技服装になっておくこと。
- ・その際に、アスリートビブス（胸・背・腰）及びスパイクシューズの点検を受ける。
- ・この招集を受けなかった選手は失格になる。
- ・アスリートビブスは招集までにつけておくこと。

＜多種目同時出場届について＞

- ・2種目に引続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できないような場合には、「多種目同時出場届」を競技者係に提出し、よく指示を受けておくこと。※届出用紙はHPよりダウンロードして各校で準備すること。

7. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にして第166条3(b)によるランキングの順位が同じな場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。
それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔競技規則第167条2〕
- (3) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、

音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔競技規則第162条5(c)〕

- (4) スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (7) フィールド競技のマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔競技規則第180条3(a)〕
- (8) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔競技規則第180条3(b)〕
- (9) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。

8. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。（すべてダグアウトを利用すること。）
- (2) トラック競技の競技者は走り終わった者はバックストレート側ダグアウトのみ利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。（※役員控室前は通行禁止）その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技終了後、準備されている消毒液で手指を消毒すること。
- (5) 長距離選手の入退場は補助競技場は入退場口を利用すること。

9. アスリートビブス（胸・背・腰）について

- ・アスリートビブス（腰）は各校で用意すること。（800m以上の種目を除く）。
- ・競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（胸・背）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでよい。アスリートビブス（胸・背）は通常はスタートリストに記載のものと同じナンバーでなければならない。トラック競技出場者は、アスリートビブス（腰）をランニングパンツ右側上部やや後方につける。

10. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

11. 記録について

- ・記録について今大会は3密を防ぐために貼りだしは行わない。
- ・記録に関してはアスリートランキングHPで行う。<http://www.athleteranking.com/>
- ・速報は電光掲示にて発表する。また、長距離種目の速報は行わない。
- ※ アクセス集中時は閲覧を制限することがある。

12. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは個別で行うこと。（新型コロナウイルス感染防止対策）
- (2) 下記の内容で指定された場所で行うこと。

メイン競技場内（バックストレート）	補助競技場	メイン競技場前（C～Dゲート前）
トラック・フィールド種目参加選手のみ ※走る方向に注意すること	すべての選手利用不可	長距離種目参加選手のみ ※練習周回コースを設置する。 ※走る方向に注意すること

- (3) 引率責任者は補助競技場の利用はできない。ただし、長距離種目に出場している選手の引率責任者のみ石段スタンドで待機可とする。
- (4) 練習ハードルについて
7:30～8:40までメイン競技場に設置しているものを使用可とする。
※ 各校のハードルの持ち込みは禁止する。
- (5) 投擲練習について
・投擲の練習はメディシンボールのみとし、メイン競技場と補助競技場の間に投擲練習場を設ける。
・出場種目ごとに次の決められた時間帯で行うこと。ただし、練習できるのは出場選手に限る。

男子砲丸投	7:40～8:20
男子・女子円盤投	9:40～10:20
女子砲丸投	12:40～13:20

13. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m25	1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m53 … 以上3cmずつ
	女子	1m20	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 … 以上3cmずつ
棒高跳	男子	2m00	2m00 2m20 2m40 2m60 2m80 3m00 3m10 … 以上10cmずつ

- ※ 当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。
- ※ 記録会形式で行うためジャンプオフは行わない。

14. 競技場使用について

- (1) 競技に参加する選手のみ入場できることとする。応援者は入場できないこととする。
- (2) 選手・役員・引率責任者（保護者）以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (3) コロナウイルス感染防止のため応援は行わないこととする。
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (7) 選手はメインスタンドを利用し、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- (8) 引率責任者・同伴者はバック・サイドスタンドのみ待機可。メインスタンドは利用不可とする。
- (9) 長距離出場選手引率責任者・同伴者は石段スタンドのみ待機可。
- (10) 引率責任者及び同伴者の入場は参加選手の保護者及びその同伴者であること。
- (11) 貴重品等の盗難防止に努めることとする。
- (12) 選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努めること。競技終了後は引率責任者と共にできるだけ早く帰宅をすること。
- (13) 各席、2 席以上空けて待機すること。
- (14) C・Dゲートは封鎖する。
- (15) リストバンド提示者のみ再入場できることとする。
- (16) 競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。**
- (17) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。

15. チェックシートについて

競技場に入場する際必ず提出すること。

(競技役員) 1 F エントランスの受付にて係に提出すること。

(選手) B ゲート入場時、係に提出すること。

(引率責任者・同伴者) A ゲート入場時、受付にて係に提出すること。＜注 意＞ 応援の方は入場できません。

16. 新型コロナウイルス感染防止によるお願いとご協力

- (1) 「ユニバー記念競技場（補助競技場）をご利用される方へ」を必ず一読し、守ること。
- (2) 社会体育施設の再開時の感染防止策チェックリスト（利用者向け）のチェックを確認し参加すること。
- (3) 競技場内で体調が優れなくなった場合は大会本部まで連絡すること。
その際、本部にてその後の対処を相談し処置を行うものとする。また、体調が急変した場合は競技には参加できないものとする。
- (4) 競技に関する以外の時はマスクを着用すること。その際、熱中症対策を踏まえマスク非着用時は人との間は 2m以上離れること。

17. WA規則第143条（TR5：シューズ）の対応について

- ・ 本大会はWA規則第143条（TR5：シューズ）を適応しません。
- ・ 「規定外」シューズ使用選手については、リザルトへの記載が義務付けられているため**第1招集場で**、申告用紙を提出すること。
- ・ 招集後以降に使用が確認された場合は参加不可とし、「記録なし」とする場合がある。

18. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (2) 大会規定・申し合わせ事項等については、プログラム記載の競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるよう協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6：00の段階で神戸市に気象警報（波浪以外）が発令されている場合は中止とする。
- (4) ABCEF 会議場前通路は役員のみ利用するので通過・入場を認めない。
- (5) 選手・種目変更は 原則、認めない。
- (6) 各校ミーティングは行わないこととする。後日各学校で行うこと。
- (7) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (8) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (9) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (10) 新型コロナウイルス感染防止のためマーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合があります。
- (11) メイン・補助競技場共にコロナ感染防止のため更衣室の利用はできないこととする。

19. 写真（ビデオ）撮影について

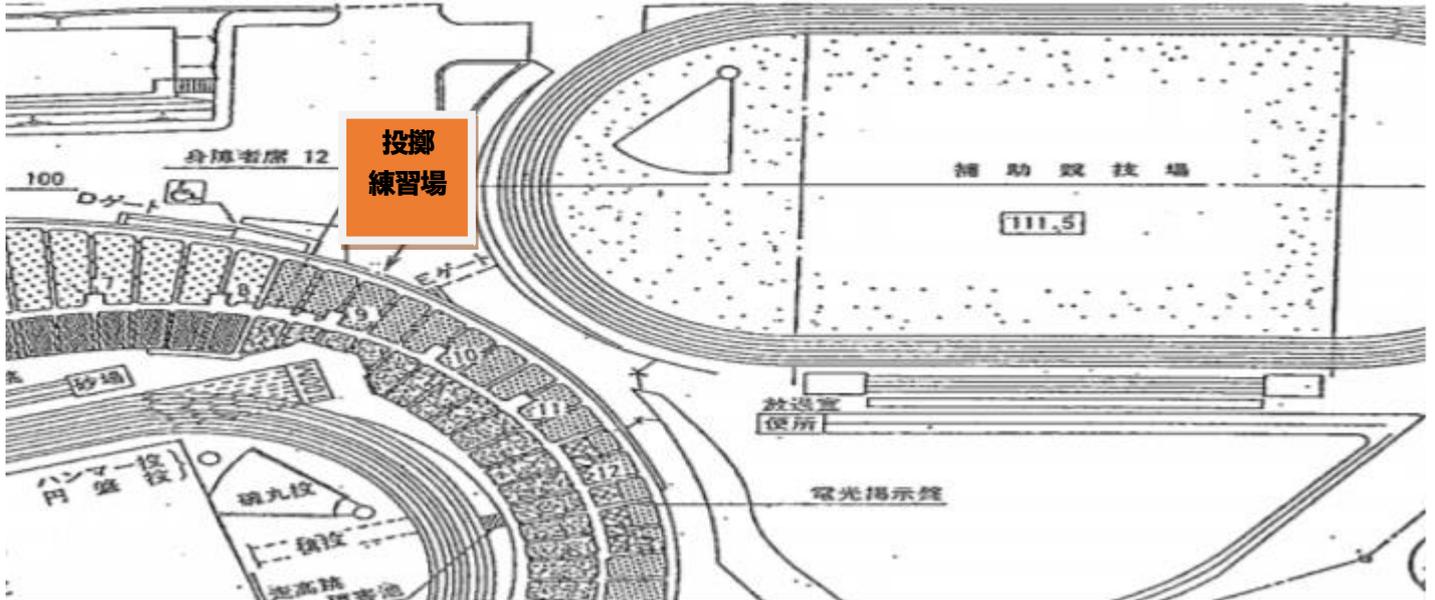
悪質な写真（ビデオ）の盗撮を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらからの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

①大会運営本部より許可した報道関係者 ②大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。

※ 投擲練習場について

※投げる方向は練習会場系の指示に従うこと。



<試合出場の手順>

- (1) 選手が入場・退場できるのはBゲートのみとする。
 - (2) 階段を降りて左側へ進んで雨天練習場にて第1招集を受ける。
 - (3) 現地で競技者係にユニフォーム、ナンバーカード、アスリートビブス（腰）、スパイクのチェックを受ける。
 - (4) 競技開始 - ゴール - 消毒 - 自分の記録を確認 - 競技場退場 - 引率者と帰宅
- ※ 必ず引率者と待ち合わせ場所を決めておくこと。(例) 勝利の像、Aゲート前、Bゲート前 など

